

東日本大震災の記録

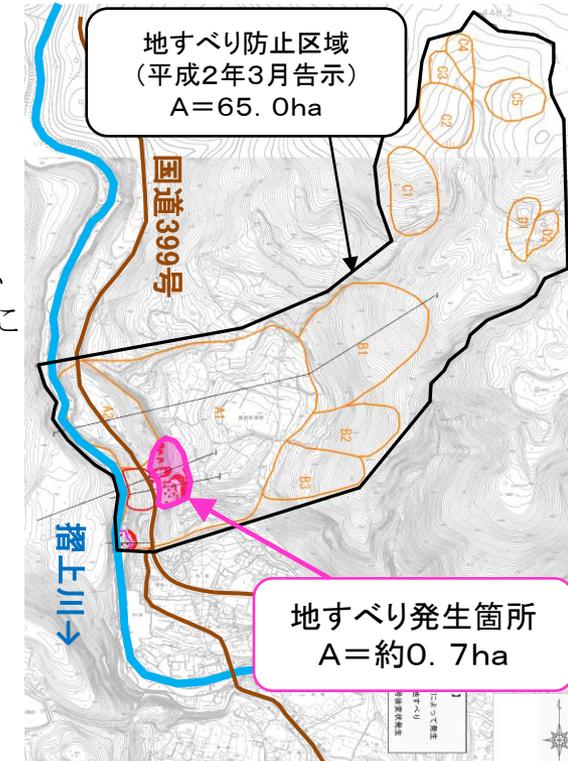
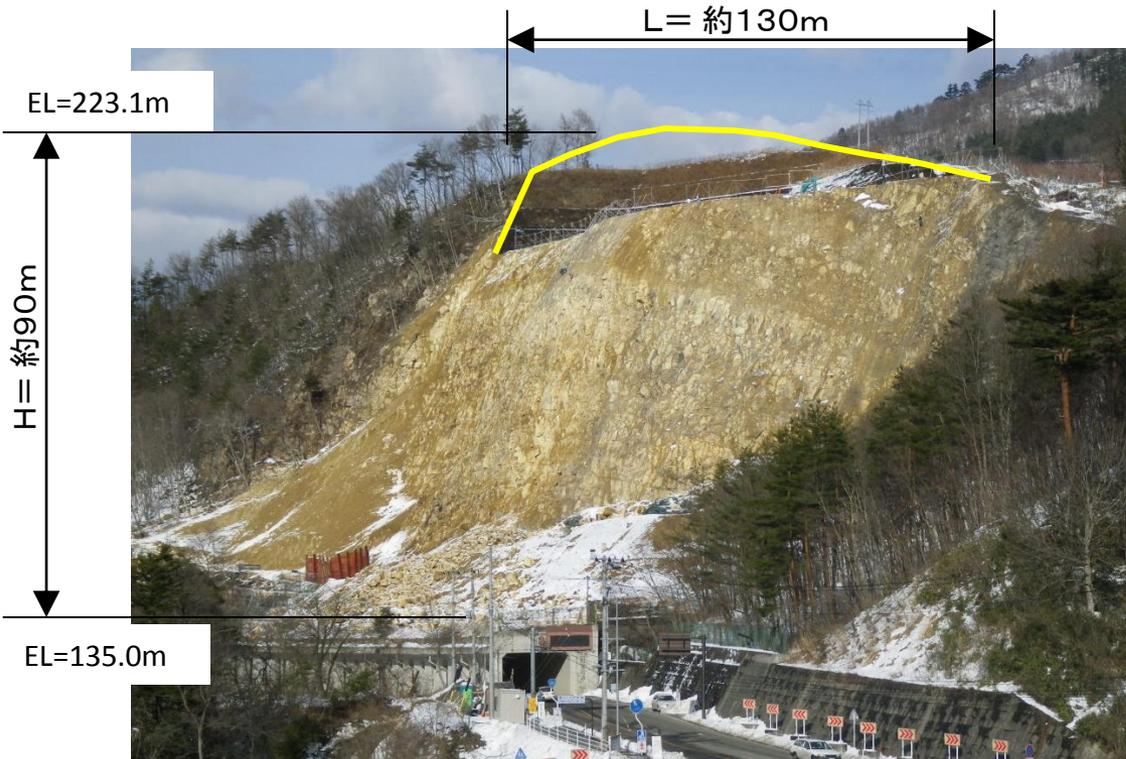
高清水地区 災害関連緊急地すべり対策工事の概要(途中経過報告)

県北建設事務所
河川砂防課 主査 鈴木伸和

施工場所:福島市飯坂町湯野字角間下地内 地すべり防止区域高清水地区

1. 概要

- 東北地方太平洋沖地震(福島市震度5強)に伴い、国道399号ロックシェッド上部斜面から道路上への落石が発生。その後も落石の危険性があったため通行止めとした。
- 現地調査の結果、斜面上部の地表面に大規模な亀裂が生じるなど、地すべり区域末端部における地すべり性の変状が確認された。
- 被災箇所下方にある一級河川摺上川及び国道399号、摺上川下流域を保全する必要があることから、災害関連緊急地すべり対策事業による頭部排土工、交付金事業によるグラウンドアンカー工等を実施することとなった。



2. 事業内容

【事業費】

全体事業費 C=約14億2千万円

災関事業 5億7千万円、交付金事業 8億5千万円

【事業期間】

平成 23 ~ 25年度

【事業内容】

災関事業) 頭部排土工 V= 62,450m³ (完了)

交付金事業) 吹付法砕工 A= 約3,400 m² (2月着手)

アンカー工 N= 96本 L=13m/本~70 m/本
(7月着手予定)

3. 進捗状況・その他

【進捗状況】

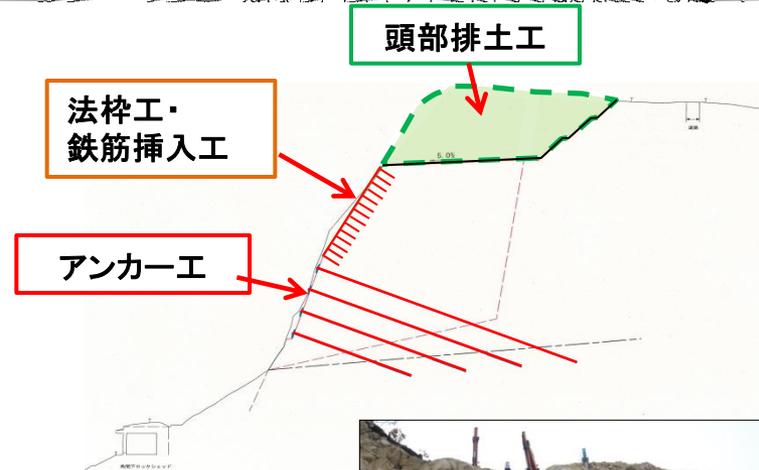
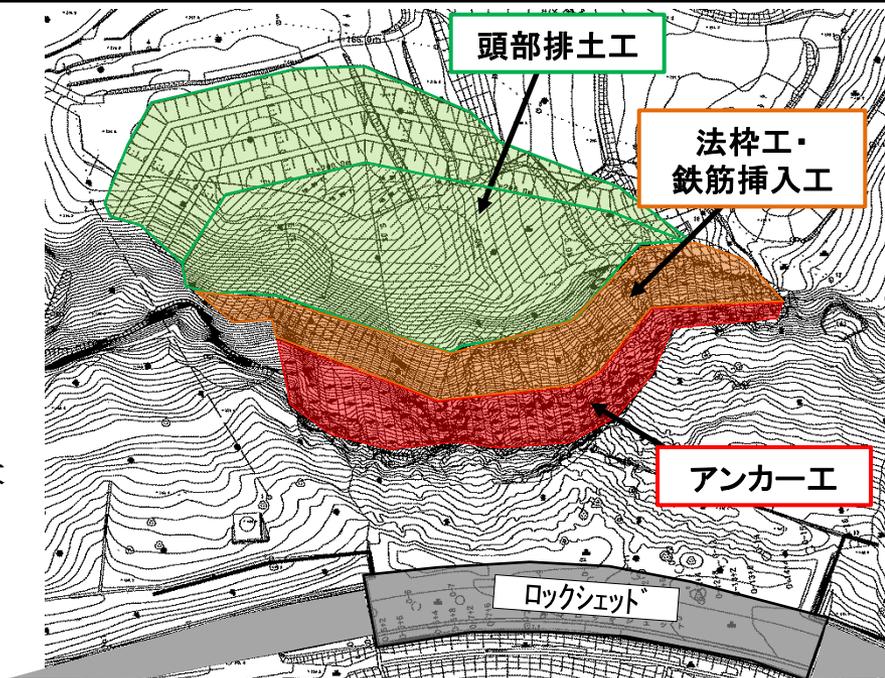
- ・頭部排土工、法面掘削工(無人化施工)及びラス張工が完了。
- ・現在、ロックシェッド上部の掘削土砂撤去、場外への土砂搬出を実施中。

【その他】

- ・地元住民に対し事業の必要性等を理解していただくため、「国道399号復旧対策連絡調整会議」を月1回程度開催するとともに、会議内容を記載した“復旧対策だより”を関係住民に配布している。
- ・本箇所周辺において地すべり性変状がまだ確認されてるため、地盤伸縮計等により変状の変化を日々監視している。

4. おわりに

- ・発生残土が約7万m³程度あるため、搬出先を確保するのに調整を要しました。他事務所や市町村、国等の御協力により何とか搬出先を確保できましたが、引き続き管内公共事業への流用等に努め、残土搬出に掛かるコスト削減に努めていきたい。
- ・本箇所において地すべり性の変状が未だ確認されているため、今後のグランドアンカー工の施工において、国道利用等に支障を来さないよう留意し、工事を進めていきたい。



無人機械による法面掘削